

第 12 回シンポジウム報告書

去る 2017 年 11 月 26 日（日）に国立オリンピック記念青少年総合センターにて当ネットワーク第 12 回シンポジウムがおこなわれました。

代表あいさつの後、三原先生には約一時間講演していただきました。内容は幅広く医学的なものから障害のある人たちの社会的ありようについてのお話までしていただきました。

医療的なお話ではこれまでの二次障害の治療法の進歩と現状を講演されました。講演の内容につきましてはここでは省きますが、ご希望の方には当日資料を¥1,000+送料とご寄付でお送りいたしますので事務局までご連絡ください。

当日の三原先生が医学的なお話以外にお話しされたことは障害のある人たちの社会的な問題に至るまで話され、もちろん二次障害の問題も重要なテーマのひとつとして話してくれました。その中で先生は障害のある人たちに対して次のように述べました。

今の自分の出来ることは大事にして欲しい。そして現状よりも良くなるように常に考えていて欲しい。そして二次障害になって運動機能が落ちても向上心は失わないで欲しい。そのことに対して僕は応援するし支えていくつもりだ。もちろん二次障害の治療もしていく。

但し、転倒事故などは注意して欲しい。リハビリなどは安全な場所で行って欲しいし、自分の出来ることは住み慣れた自宅の中で行うのが良いと思います。外出する時は歩行することによって転倒するよりも車椅子に乗っても構わないと考えを新たにしておしゃっておりました。

そして先生は続けられました。障害のある人たちが社会にどんどん出て行って欲しいし、より安全に社会参加をして欲しいのです。そのことによって多様性を認め合うよう変えて欲しいのです。そういった意味でも前向きに生きていってください。とわれわれにエールを贈っていただきしめくられました。

また、懇親会では参加者一人一人の質問に対して三原先生はていねいに答えられておりました。その中で三原先生に次ぐ二次障害の患者さんを診てもらえる医師は横浜南共済病院では育っていると答えられておりました。

以上
報

告：菊野